資 料 提 供

平成３１年１月１７日

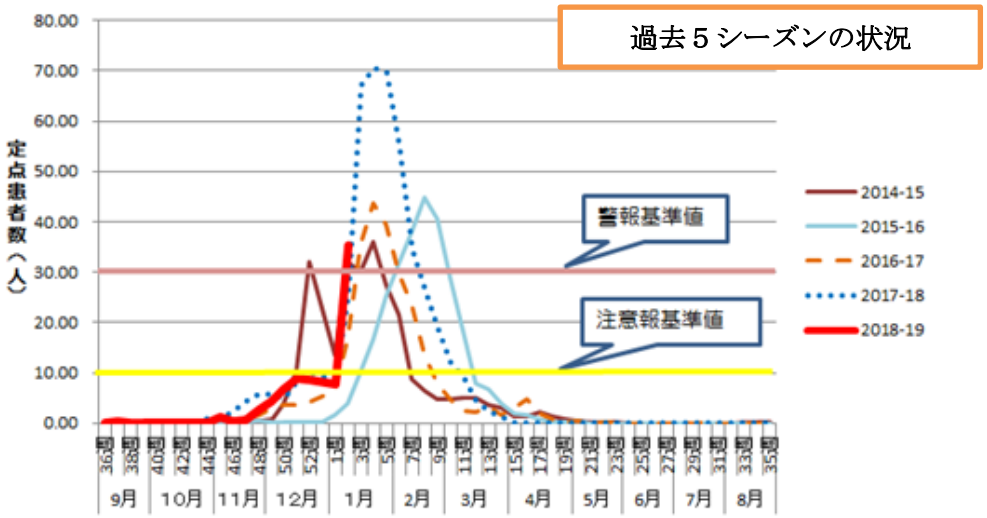
担 当 課	総務企画課
担 当 者	福島・丹生
電　　話	（073）488－5102
内　　線	

インフルエンザ流行警報！

和歌山市では平成３１年第２週（１月７日～１３日）の感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点あたり報告数が警報レベルの基準値（３０）を超え、３５．２７ となりました。

今シーズンは、昨年１１月末に流行入りし、年末には定点患者数が注意報（１０）近くまで達しました。１月に入ると患者数が急増し、警報レベルを超えました。また、学校の学級閉鎖等の報告も増加しており、今後も大きな流行の可能性があります。

流行株については、A／H1ｐｄｍ、A／H3 型が検出されており、２種類の株が同時に流行しています。インフルエンザの感染予防対策を徹底してください。



■和歌山市内の状況（和歌山市感染症情報センター）http://www.kansen-wakayama.jp

■インフルエンザにかからないために！

- 外出後等の手洗いの徹底
- 咳エチケット（マスクの着用など）の徹底
- 適度な湿度の保持
- 十分な休養とバランスのとれた栄養　　などが重要です。

■インフルエンザにかかったら！

- 具合が悪ければ早めに医療機関を受診しましょう。
- 安静にして、休養をとりましょう。特に、睡眠を十分にとることが大切です。
- 水分を十分に補給しましょう。お茶でもスープでも飲みたいもので結構です。
- 咳やくしゃみ等の症状のある時は、周りの方へうつさないように必ずマスクを着用しましょう。
- 熱が下がっても、約２日間はウイルスが排出されていると言われています。
  熱が下がったからといって、無理して学校や職場等に行かず、自宅療養しましょう。また、人混みや繁華街への外出も控えましょう。